



春分の日を境に、日ごとに昼が短くなり、夏至（6月21日頃）には最も夜が短くなります。この頃の短い夏の夜を「短夜」と言います。午前4時には空は白み始め、朝を連れてきます。

涼しい夜風が楽しめる夜なのに、もう明けてしまうのか、と明け急ぐ夜を嘆く思いに重きを置いた言葉。長い夏が始まるのも、もうすぐですね！

暖かくなるとは早がった春、青葉がキレイな新緑を楽しんでいたと思えばもう初夏ですね。そして、シトシトと降る雨とどんよりとした空模様。そんな中、雨露が滴るねぎの葉に、うっ、とりするひと時があります。

5月中旬過ぎで、早すぎる梅雨入りとなりました。生命を潤す梅雨ですが、長雨によって起こるねぎの生育不良には気をつけていく心構えをしています。

### 今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

いつもよりも少し長めに、春の葱たちをお届けしていきます

主に京都市内で育ったねぎをお届けしています。

3月、例年に比べて春の訪れが早いかな、という時期に苗を定植したものです。この苗は、年末に播種を行い、一番寒い時期を過ごした苗たちです。ハウスで毎日ストーブを焚いて、大事に育てたおかげもあり、とても良い苗を育てることができました。また、定植後はねぎにとってちょうど良い気候だったようですくすくと育ちました。少し早い梅雨入りで、いつもより痛みやすく繊細です。届いて鮮度のあるうちに食べていただきたいです。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

### 今年も「直播」！夏葱定植中

昨年からの新たな取組として、今年も直播試験を行いました。今年は種まきに早速新入社員にも参加してもらい普段とは違った体験をしてもらいました！新入社員にとっては、これからが体力づくりの大事な時期になります。この時期の過ごし方で、夏を乗り切れるかにどうかにかかりますので、先輩社員に体調管理も教わりながら、日々の業務に取り組んでいます。



畑によっても、土の感酸とか違うんだなあ

### 早すぎる梅雨入り

例年に比べて20日以上早い梅雨入りとなりました。長雨によって、初期生育不良や収穫時期の遅れが予想されます。雨がずっとと土壤中が酸素不足になるので、酸素剤を投入し、根の呼吸を助け、健全な生育になるようにしていきます。

土の酸素不足なくない



古都・事・言 3つの「こと」を伝えます  
ことねぎだより

NO.169

2021年6月号

TEL: 075-601-0668



KOTO GROUP  
4A

